

プロジェクトを  
選んで支援！



# 割り勘で 夢を かなえよう！

事業指定助成プログラム

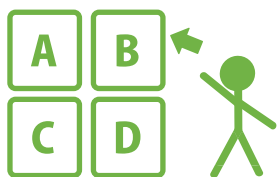
## 第8期

### 寄付募集期間

2016年8月1日(月)～9月30日(金)

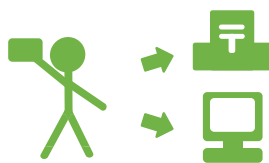
現金・郵便振替での受付は9/23(金)まで  
9/24(土)～9/30(金)はクレジット決済のみ

①



このカタログの中から応援したい取り組みを選んでください。

②



同封の郵便振替用紙でゆうちょ銀行にて寄付をお願いします。インターネットからも可能です。

③



賛同者から集まった寄付により助成を行い取り組みを実行します。実施後は成果を報告します。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

# 空から☁ 瀬戸内海の 自然を 考えよう！

パネル展示プロジェクト  
～未来へ伝えるはじめての一步～

目標 **420,000 円**

NPO 法人空から自然を考える会

瀬戸内海上空を飛行していると、浮遊ゴミ、希少動物のスナメリ、赤潮、山火事など様々な姿に遭遇します。本プロジェクトでは、瀬戸内海の航空写真パネル展を開催することで瀬戸内海の自然の豊かさやゴミ問題について知ったり考えたりする機会をつくり、継続的な自然環境保護啓発活動を行っていきます。

## 9割以上の人が自然に関心があるが、瀬戸内海の自然について実はあまり知る機会がない。

内閣府「環境問題に関する世論調査」(平成 24 年度)では、9 割以上の方が「自然に対する関心がある・非常にある」と回答しており、国民が自然へ強い関心を示していることがわかります。私たちが住む岡山県は、瀬戸内海に面し、豊かな自然の恩恵を受けながら生活しています。その瀬戸内海では、海ごみ回収などの様々な取り組みが実施されており、自然を保護することができています。

しかし、瀬戸内海にどのような自然が残されていて、日々どんな変化が起こっているかについてはあまり知る機会がなく、私たちは身近な瀬戸内海のことを実はあまり知らずに生活をしています。

## 瀬戸内海上空を飛行していると 自然について知る様々な機会がある。

当会は、上空から海を見る機会を持つカメラマンやパイロットなどが中心となり立ち上げた会です。業務で瀬戸内海上空を飛行していると、浮遊ゴミ、希少動物のスナメリ、瀬戸内海では出現状況が良くわかっていないマンボウ、赤潮の発生の様子、山火事やかけ崩れなど瀬戸内海の様々な姿に出会うことができます。

スナメリは、水産庁のレッドデータブックにおいて希少種に指定されている小型ハクジラの一種ですが、瀬戸内海にも生息しており、人間の身近な場所に生息している鯨類です。40 年ほど前には、岡山港でも目撃されるほど身近にいたのですが、瀬戸内海での生息頭数は激減したことが報告されています。

また、瀬戸内海では昔から海ゴミの問題を抱えています。空から撮影した写真に写っているゴミは時間が経つと海底に沈み堆積します。色々なゴミがありますが、ペットボトルや食品容器などのプラスチック製品は自然界での分解が行われず残ってしまい、環境や生物・生態系への影響が大きいと言われています。



希少種に指定されている小型ハクジラの一種「スナメリ」と海鳥





瀬戸内海で赤潮が発生している様子



撮影に使用するセスナ機

## 瀬戸内海の航空写真パネル展を開催し、自然の豊かさや抱える問題を知る機会を増やしたい。

本プロジェクトでは、瀬戸内海の航空写真を展示するパネル展を開催することでより多くの人に瀬戸内海の自然環境を知っていただくきっかけをつくり、自然環境保護の啓発活動に取り組んでいます。

パネル展は 2015 年から実施していますが、今回のパネル展では、今まで撮影したものに新たに加えて撮影することで、経年変化など瀬戸内海の自然について知ってもらえるようにします。

## 環境や他の生物のことを当たり前で気遣い、現状を良くしていこうと思える社会へ。

環境を守り育てる活動やリサイクルなどの取り組みは、初めは小さな輪でも地域全体に広がり、やがてどこでもそれが“普通”の事になっていくと私たちは考えています。輪を広げるためのはじめの一歩は、「環境問題は、私たち一人ひとりの様々な活動に起因している」ということを認識することです。私たちはこの活動を通じ、瀬戸内海の自然について知ったり、考えたりする機会を増やすことで、社会のみんなが環境や他の生物のことを当たり前で気遣い、現状を良くしていこうと思える社会を目指しています。

私たちの活動へご支援のほど、よろしくお願いします。

### ● 航空写真の撮影とパネル展について

天気の良い・風が少ない・暖かい日に新しい航空写真の撮影を行います（暖かくて風がない日は、スナメリなどの海洋生物が海面付近に上がってくるため撮影しやすい）。今回撮影する写真と今までの写真を展示するパネル展は 2016 年 10 月以降に岡山市内を中心に複数箇所で開催予定です（昨年度は、山陽新聞社、天満屋岡山店、クレドビル、商工会議所、生涯学習センターにて開催）。パネル展の日程など詳細情報は決まり次第ホームページやフェイスブック、モーションギャラリーなどにてお知らせしていきます。



昨年のパネル展の様子

### ● ご寄付のプランと特典

寄付プランごとの特典は下記の通りです。

- 1) 1,000 円「お礼状」
  - 2) 3,000 円「オリジナルクリアファイル＋お礼状」
  - 3) 5,000 円「解説付き展示会のご案内（日程は追って連絡します）＋オリジナルクリアファイル＋お礼状」
  - 4) 10,000 円「セスナのcockpitで操縦かんを握れるイベントへのご招待（個人や家族で写真撮影可）先着限定 30 組予定＋解説付き展示会のご案内（日程は追って連絡します）＋オリジナルクリアファイル＋お礼状」
- イベントは 2016 年 11 月 5 日（土）11:00～13:00 頃を予定（イベント予備日 2016 年 11 月 12 日（土）11:00～13:00 頃）  
※天候や岡南飛行場の状況により日程が変更になる場合がございます。  
※指定の機体以外の撮影は禁止となります。予めご了承ください。

### ● 寄付金の使途について

- ・航空機使用料（航空写真撮影）
- ・パネル展会場使用料
- ・動産総合保険料
- ・パネル展案内ハガキ代 等

寄付目標金額よりも多く集まった場合は、航空機使用料に当てることで撮影回数・時間を増やし、新しい写真を撮影します。また、パネル展開催箇所を増やすことで知ってもらえる機会を増やします。

目標金額に到達しなかった場合は、調査地域を狭めるなど撮影のための飛行時間を短縮します。

### ● プロジェクト実施団体

NPO 法人空から自然を考える会

- 活動内容 : 環境・エコロジー
- 代表者 : 理事長 岸本 享
- 設立年月日 : 2014 年 1 月 30 日
- 実施団体の詳細な情報はおかやまシェア・ウェブをご覧ください。  
<http://okayama-share.jp/cgi/web/index.cgi?c=npo-2&pk=75>



空から自然を考える会  
マスコット

## ●「割り勘」とは？

事業指定助成プログラム、通称「割り勘」とは、寄付を原資とした助成事業です。NPO・市民団体等が取り組む事業内容を社会に発信し、事業への賛同者を募ることで、「寄付により資金集めを支援する地域版クラウドファンディング」です。



## ● ご寄付の方法

### クレジット決済

モーションギャラリーのウェブサイト内からクレジット決済にて寄付をすることができます。

### 郵便振替

本カタログに挟み込んでいるものをご使用いただくか、事務局及び申請団体へ連絡いただき振替用紙を受け取ってください。

### 現金

説明会の会場やみんつく財団事務所で受付しております。事務局までお問い合わせください。

## ● ご寄付をいただいた後の流れ

- 1) ご寄付をいただきましたら、入金確認後、電子メールにてお礼と受付確認の連絡をさせていただきます。
- 2) 募集期間終了後、助成金額が確定（1カ月程度見込み）したのち、領収書及び助成結果通知を送らせていただきます。※領収書は、未発行の場合のみ発送させていただきます。  
※モーションギャラリー経由（クレジット）の場合は領収書は発行されません。
- 3) 助成時に、各団体へ寄付者名簿をお渡しし、事業実施後、事業報告が各団体より行われます。みんなでつくる財団おかやまのウェブサイトでも事業結果をご報告いたします。

### Q. 目標金額に達さなかった場合はどうなりますか？

集まった金額で助成（資金提供）を行います（当法人の運営経費5%＋システム利用料を差し引いた額）。提案事業の目的に沿ったものを、事業規模の縮小もしくは他の資金を充当することにより実施できるものを選定しております。詳しくはウェブサイトの募集要項をご覧ください。

### Q. 逆に、期間内に目標金額を超えたらどうなりますか？

目標額を超えて集まった金額も含め、助成し、提案事業の発展に活用していただきます。

### Q. 目標金額はどのようにして決まっていますか？

事業提案者の申請額に、当法人の運営手数料（助成額の5%＋システム利用時はシステム利用料）を加えたものになっています。



## みんなの何とかがしたいを カタチにする仕組み。

みんなでつくる財団おかやま、通称「みんつく」は、530名以上の方からの寄付4,133千円をもとに設立した「みんなの何とかがしたいをカタチにする」市民コミュニティ財団（公益財団法人）です。「つなぐ、つたえる、シェアをする」をキーワードに、広く多くの人に知ってもらいながら資金を集める地域版クラウドファンディング「割り勘」、個人でも少額から基金を設置できる「冠基金」などの仕組みを提供しています。ヒト・モノ・カネ・情報の資源循環を通じて、社会課題の解決を進め「安心して持続可能な地域社会の実現」を目指しています。



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

☎ 070-5056-3029(直通) ✉ info@mintuku.jp

🖥 www.mintuku.jp

みんつく財団 検索

寄付の相談や、講演依頼も気軽にご連絡ください